



尾久八幡

令和7年度 3月号
令和8年 3月 2日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 稲葉 裕之

— この一年のまとめの月に —

いよいよ3月に入りました。三学期は、これまで、鍛え身につけてきたことを発揮する、その学年にとっての1年間の“総仕上げ”=まとめの学期です。学習面の“総まとめ”である学年末考査は終わりました。この後は生活面の“総まとめ”として、1年間をふり返り、4月から次の学年・次の進路につながるよう、残りの数週間を意義あるものにしてほしいと思います。



本校の青少年赤十字 (JRC) 活動は、開校間もない昭和40年に始まり、途中、コロナ禍等で停滞した時期もありましたが、半世紀以上継続的に活動しています。本年度も、学校経営方針の指導の重点の一つに掲げ、日々の教育活動に取り入れるとともに、次のような取り組みを行いました。

- ・都リーダーシップトレーニングセンター :【代表生徒2名】8/17~19
- ・JRC クリーンボランティア (地域清掃) :【JRC 美化委員、有志生徒】7/10 (38名)、12/23 (34名)
- ・日赤「能登半島地震災害義援金」校内募金 :【JRC 美化委員会】12/9・10 (総額34,997円)

そして3学期は、以下のような計画をしました。

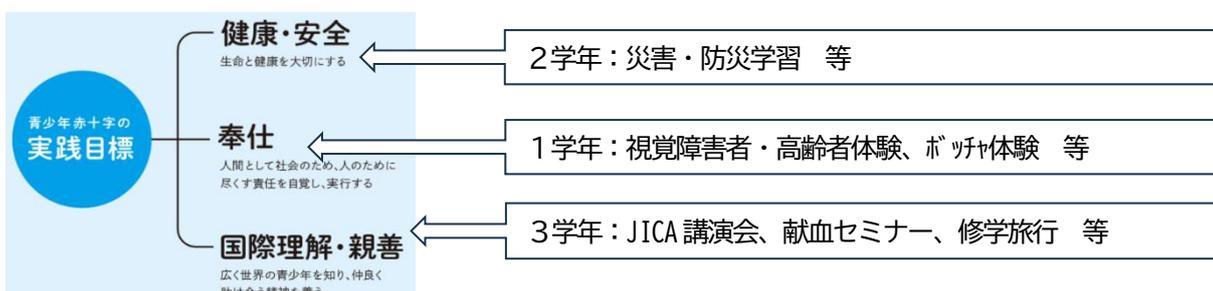
- ・JRC 福祉・奉仕学習 (視覚障害者・高齢者疑似体験) :【2学年】2/13
- ・JRC 献血セミナー (日赤血液事業講演会) :【3学年】3/10

このうち今回は、2月に実施した JRC 福祉・奉仕学習の取り組みについてお知らせします。

「福祉」について体験的に学ぶことで、理解を深めることができました。

1年 JRC福祉・奉仕学習 2月13日(金)

そして今回は、1年生が「総合的な学習の時間」として「福祉・奉仕学習」を実施しました。本校では、青少年赤十字の実践目標の3つの柱を、学年ごとのテーマに位置づけ、「総合的な学習の時間」を使って取り組んでいます。1年生は“奉仕”をテーマとしていることから、今回の取り組みを行いました。



2月13日(金)、5・6時間目を使い、2F アリーナ会場「ボッチャ体験」、1F 武道場会場「高齢者疑似体験」、グランド通路(点字ブロックあり)会場「視覚障がい者体験」の3会場3テーマで、体験活動を行いました。

「高齢者疑似体験」では、おもりやサポーター等の装具を使って「高齢者」の疑似体験をしました。実際に装具を装着してみると、いかに身体の動きが制限された状態で生活しているか身をもって知ることができ、どんな支援や配慮が必要なのかも実感をもって理解することができました。



「視覚障がい者体験」では、アイマスクを装着し目が見えない状態となり、白杖を使って点字ブロックのある通路を歩く体験をしました。また、その歩行介助の体験も同時に行いました。直線の通路と分かっている、白杖だけで進む方向を確認するのは難しく、また、それを介助するのも、相手に分かりやすい声かけやリードする必要があることが分かりました。

「ボッチャ体験」では、チームに分かれ、対抗戦を行いました。一投ごとに変化する状況に応じて戦略を組み立てていく必要があるため、奥深さを感じる一方、ただ“投げる”だけの競技なので、男女や体格差などにかかわらず参加でき、楽しく競技をすることができました。



実施にあたり、装具等を日本赤十字社東京都支部から、競技資材を荒川区役所スポーツ振興課からお借りしました。また、ボッチャの会場設営・競技運営では、荒川区スポーツ推進委員の方々にご準備・ご指導等いただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

異なる年齢の方との対話を通して多様な考え方・価値観を知り、生き方を考える機会となりました。

2年 “キャリア・ワークショップ” 2月14日(土)

本校では、学校経営方針3つの柱の1つ「『関わる力』人間関係づくり」の重点項目に、“キャリア教育の推進”を掲げています。そのうち、2年生においては、自分の生き方を考える機会として、外部人材を活用した取り組みを取り入れています。昨年度は、ソニー生命保険株式会社が行っている、経済産業省主催キャリア教育アワード「最優秀賞(経済産業大臣賞)」受賞の教育プログラム「ライフプランニング講座」を実施しました。今年度は、一般社団法人ひと・つながり研究所ラクシュミーにご協力いただき、「キャリア・ワークショップ」を実施しました。



このプログラムは、社会人及び大学生の方から、自身の人生・価値観や壁にぶつかった経験などを等身大で話してもらってキャリアトークセッションです。今回は、講師としておいていただいた社会人10名・大学生10名がペアとなって10教室で講座を開設、そこに、15名程度10グループに分かれた2学年生徒が教室をめぐり、2つの講座を受ける形式で行いました。



各トークセッションは、以下のような内容で行われました。

- ・「中学時代から現在までの自分の人生経験」のシェア
- ・「自分を作るきっかけとなった経験」のシェア
- ・中学生へ向けたメッセージ

その後アリーナに集合、グループごと、記入したワークシートなども使いながら、講座を受けた社会人・大学生の方と今日の感想などを伝え合いました。講師の方と自然な形で会話する生徒たちの様子が印象的でした。

講師の方の多くが次のようなお話をされていました。

- 学生時代に悩んだり挫折しそうになったことが、今振り返ると、それが転機となり成長につながったり自分を作るきっかけになったりしている。
- 困難や変化に遭ってもそれを受け入れながら進んでいくこと、大人になっても成長するという気持ちをもつこと、新しいことへ挑戦することが大切。

今回のトークセッションは、

- ・いらしていただいた社会人・大学生の方から、「その人の人生の物語を直接聞く」経験
 - ・講義や発表、プレゼンテーションを聞く・するのではなく、「異なる年齢の方と話す・伝え合う」体験
- といった、日ごろ学校ではできない、意義ある体験、貴重な経験となりました。

おいていただきました講師の皆さま、コーディネート・運営いただきました末吉謙太郎さまをはじめひと・つながり研究所ラクシュ・ミューの方々、この度は本当にありがとうございました。

東京都大会に進出!金賞をいただくことができました。

吹奏楽部 「東京都アンサンブルコンテスト」 出場 2/8(日)

本校吹奏楽部は、1月24日(土)に行われた、東京都中学校吹奏楽連盟主催「東京都中学生アンサンブルコンテスト」に出場、金賞をいただくことができました。さらに、この大会の上位22グループは「東京都アンサンブルコンテスト(全日本アンサンブルコンテスト予選)」に選出されるのですが、本校はその22校に選ばれました。

この「東京都アンサンブルコンテスト」は、東京都吹奏楽連盟と朝日新聞社の主催で、小学生の部、中学生の部、高等学校の部、大学の部、職場・一般の部で行われる大会です。このあと3月21日に広島県で開催される「全日本アンサンブルコンテスト」に出場する東京都代表を選出する大会ともなっています。



2月8日(日)、会場は1月24日と同じ「府中の森芸術劇場」、ホールも同じ「どりーむホール」。中学生の部は午後からの開始で、本校は22校中3番目の演奏でした。東京都を勝ち抜いた精鋭が集まるなか、結果は見事“金賞”をいただくことができました。残念ながら、全日本大会に出場する東京都代表2校には届きませんでした。それに肉薄する、すばらしい演奏をしてくださいました。生徒のみなさん、ご苦労さまでした。

また、多くの皆さまに応援いただきましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

各種表彰・受賞者がぞくぞく!八幡中生の活躍を紹介します。

その1 荒川区教育委員会褒賞

本年度荒川区教育委員会褒賞の受賞者が決まり、3月13日(金)にはムーブ町屋で贈呈式が開催されます。日頃の成果がこうした形で認めいただけることは、大変喜ばしいことです。おめでとうございます。

内容	氏名(学年)・団体	成績
① 東京都中学生吹奏楽コンクール 東日本部門	吹奏楽部	① 都・金賞
② 日本管楽合奏コンテスト予選審査会 中学校A部門		② 都・最優秀賞
東京都中学校区部新人卓球大会 女子団体	卓球部	都・3位
東日本U15中学生ラグビーフットボール選抜大会	木下 朝智(3)	東日本・3位
図書館を使った調べる学習コンクール	太田 和範(1)	全国・優良賞
図書館を使った調べる学習コンクール	大井 夢愛(2)	全国・奨励賞

その2 第75回 東京都公立学校美術展覧会 出品

2月14日(土)から18日(水)まで東京都美術館で開催された東京都公立学校美術展覧会に、荒川区を代表して、以下の生徒作品が出品されました。おめでとうございます。

教科	【学年 作品】氏名
技術	【3年 LEDソーラーライト】平 晴斗 藤原 美咲
国語(書写)	【1年 平和祈念】軽木 絢子 【2年 光輝を放つ】村上 杏佳
美術	【1年 唐紙ハンコ】藤田 優 浜田 朋音 【2年 銅板レリーフ】藤根 紗羽 岩下 和叶 押切 絆斗 堀口 有里紗 【3年 細密描写】風間 華 田中 あさ 岩上 ゆめ
家庭	【1年 ペンケース】加藤 唯 渡世 美紗季 【2年 きんちゃく袋】酒井 莉那 杉山 彩海 【3年 ブックカバー】峯村 遥 藤原 美咲